



一般質問とは、市の行政事務の状況や将来の方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、定例会ごとに行われます。今定例会では、16名の議員が質問を行いましたので主なものの要旨を掲載いたします。なお、本文中の「見出し」及び「問」は、質問者自身が責任をもって作成したものです。  
詳しい内容は、会議録（8月下旬発行予定）を議会事務局、児玉総合支所、本庄ガス ECO はにぼんプラザ、図書館、公民館及び市議会ホームページで閲覧することができます。  
<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/honjo/pg/index.html>



# ここがポイント！ そこが聞きたい！！

児玉総合公園体育館  
利用者の駐車場について  
自由民主党 小林 猛  
本庄代表

**問** 県大会の予選会場として、公式試合に適した会場は、シルクドームとエコーピアの2会場であるが郡市内のバスケット会場はエコーピアとなります。中学校の数は児玉郡市内で私立も含めて10校であり、男女で合計20チームとなります。1チーム駐車スペースが10台必要です。そのため合計200台以上の駐車スペースの確保が必要になるため駐車スペースの増設をお願いいたします。

**答** タカハシソースエコーピアでは、例年、様々な大会が開催されており、車を利用して来られる方も多い状況です。敷地内の駐車可能台数は、70台であり、規模の大きい大会や参加選手等の人数によっては不足することもあります。そのため、主催者、選手、関係者に乗り合わせや公共交通機関の利用等にご協力をお願いしています。併せて、隣接するセルディヤ

金屋小学校、また、県立児玉高等学校など周辺施設と事前協議し、各施設が有する駐車場を相互利用することで対応しています。施設の所管に関わらず、互いに融通、補完し合うことは、行政の効率的運営において重要なことと認識しています。

駐車場の増設については、駐車区画線を引いていない未利用部分を追加の駐車区画とすることが可能と考えていますので、迅速に対応できるよう努めます。駐車場の対応策は、引き続き各施設の相互利用をしながら、限られた敷地の有効活用を図っていきます。  
(スポーツ推進課)

**【その他の質問】**  
・所有者不明の不動産等について  
・JR児玉駅前の件について



児玉総合公園体育館の駐車場

本庄市の未来への投資について  
公明党代表 栗田 弘志

**問** 魅力溢れる街づくりの土台は、経済分野であると考えます。商業・工業・農業の基盤がしっかりすることと市の発展・活性化もあると思います。本市では2カ所の発展創出ゾーンがあります。特に国道17号バイパス本庄道路付近について、仮に道の駅が出来て、あとは田園風景が広がるのか、それとも商業・工業・農業が一つになる発展創出ゾーンになるのか、市長の考えを伺います。

**答** 総合振興計画及び都市計画マスタープランでは、発展創出ゾーンを、地域活力の新たな創出を図るゾーンとして位置づけ、計画的なまちづくりを進めています。発展創出ゾーンは、市内の主要な幹線道路網に近接したエリアであり、産業用地の創出に向けた適地選定の候補地や道の駅の基本構想における候補エリアとして、これらの整備に向けた検討を行っています。

一方、これらの地域は農業の振興にも寄与してきているエリアですので、商業・工業・農業、それぞれの産業の発展、地域の発展に繋がるよう今後も調査研究を進めていきます。また、公共事業により集団性が確保できず生産性が低くなる農地や、農地以外の目的に転用することで地域の振興に寄与する可能性を有する農地があることも予想されます。今後とも関係法令を遵守しながら農業の振興と地域の発展に向けた調和のとれた土地利用の最適化に向け、発展創出ゾーンを中心に、市の将来を持続的に支える多様な機能の誘導に積極的に取り組んでいきます。  
(産業開発室)



医療費削減のための  
特定健診の受診率向上について  
市議団未来代表 堀口 伊代子

**問** 国保加入者の74歳以下の医療費は年間一人平均377,048円、75歳以上の後期高齢者で824,928円。後期高齢者医療の財源は国県市の税金が5割、現役世代からの支援金である保険料が4割となっている。現役世代が減少する中、社会保険料の負担増が懸念される。健診を受診することは生活習慣病の早期発見・治療につながるが、特定健診の受診率向上の取組みについて伺う。

**答** 本市の特定健診の受診率は、令和5年度は36.5%となり、近年上昇しています。県内市町村の平均40.4%には届かない状況です。受診率向上の取組では、受診者にインセンティブを与える事業として、健康づくりチャレンジポイント事業の「はにぼんチャレンジ」で、受診者には、ポイントを高く付与しています。また、受診しやすいよう集



**【その他の質問】**  
・小中学校における健康教育について  
(保険課・健康推進課)

まちの灯りの現状と  
今後について  
市議団きせき代表 矢野間 規

**問** 全国的にも課題視されている、商店会街路灯。個人や組合が任意で管理している街路灯は把握できているのか。また今後、商店会や組合が解散した場合、市への移管は可能なのか。その際、防犯灯と街路灯では設置基準が異なるため、市民生活部、経済環境部どちらの管轄になるのか現場では判断が困難。そこで市長の判断が必要になってくるが、街路灯の今後の見解を伺う。

**答** 商店街街路灯は、市料金の補助制度を活用しているものが約690基あります。このほかの任意の団体や個人で管理しているものは、正確な数が把握できていません。個人や任意団体で管理されている街路灯は、民間が設置したもの不要となった場合の撤去費用も設置者自らご負担いただくことが原則です。将来の撤去に備え基金などを



商店会街路灯

**【その他の質問】**  
・本庄市のシティプロモーションについて  
(商工観光課)

市長の市外活動の本市に関する  
利点と今後の市長の考え方  
市議団大地代表 富田 雅寿

吉田市長が就いてい  
る、全国市長会副会長  
及び埼玉県市長会会長及びそ  
の関連の役職活動に際し、本  
庄市への利点がありますか。

吉田市長が市長になられて  
約二十年が経ちました。吉田  
市長が市長になったときに考  
えていた理想の本庄市になり  
ましたか。なっていないとす  
れば現在何割達成でしょうか。  
今任期あと半年です。本市の  
今後の方向性と吉田市長のお  
考えをお伺いいたします。

【その他の質問】  
・本庄駅北口整備の進捗状況  
と本庄総合公園について  
・行政施設跡地及び市所有地  
について

【その他の質問】  
・本庄駅北口整備の進捗状況  
と本庄総合公園について  
・行政施設跡地及び市所有地  
について



本庄市役所

基礎自治体の声を国や県に届  
け、地方の底上げを図ること  
が、結果として本市の利益に  
つながると考えます。

市長就任当時に思い描いた  
姿と現在は、必ずしも一致し  
ないものの、社会の変化に合  
わせ、思い描く姿も変わって  
いく、むしろ変えていくべき  
と考えています。

いま何合目かと問われれば、  
ひと山越えればまたひと山と  
いう感覚であり、一つ一つの  
事業に愚直に取り組み、まち  
づくり之魂を込め、皆様とと  
もに更なるチャレンジを重ね  
ていく決意です。

(秘書課)

【その他の質問】  
・本庄駅北口整備の進捗状況  
と本庄総合公園について  
・行政施設跡地及び市所有地  
について

実情に合った  
遊休農地の解消に向けて  
倉林 益代(市議団きせき)

全国的な課題である  
遊休農地。このままで  
は拡大する一方の遊休農地。  
その実情は千差万別である。  
優良な農地に生まれ変わる  
農地は新規就農者等に繋げら  
れるように整備し、所有者個  
人の努力ではどうにもならな  
い農地は個々の実情を把握し  
その悩みに寄り添い、将来的  
な見通しを持った指導助言を  
していただきたいと思うがど  
うか。青地の遊休農地は何ら  
かの対応がとられるのか。

【その他の質問】  
・本庄駅北口整備の進捗状況  
と本庄総合公園について  
・行政施設跡地及び市所有地  
について

【その他の質問】  
・本庄駅北口整備の進捗状況  
と本庄総合公園について  
・行政施設跡地及び市所有地  
について

かけていきます。

また、優良農地の確保・保  
全とともに、農業に関する公  
共投資その他農業振興施策を  
計画的に実施することを目的  
として10ヘクタール以上の集  
团的農地を農用地、いわゆる  
青地として、効率的な農業を  
進め、保全する土地を範囲指  
定しています。この区域は、  
集团的に農業を進め、保全す  
るエリアとして市の計画で定  
めており、一筆ごとの耕作状  
況は影響しないことから、遊  
休農地であっても農地として  
区域に含まれることが原則で  
あり、農用地から除かれるこ  
とはありません。

(農業委員会事務局)

【その他の質問】  
・農作物PRと遊休農地活用  
によるシタイプロモーショ  
ン



青地指定でどうにもならない農地

インクルーシブ広場(公園)  
について  
早野 清(自由民主党本庄)

本庄市と児玉町が対  
等合併し、約二十年に  
なりますが、児玉地域に大型  
公園を作っていただいたく思  
います。誰もが一緒に楽しめ  
るユニバーサルデザインを取  
り入れた遊び場(インクルー  
シブ公園)。将来的には、利  
用者や地域団体の自治により  
公園が育てられるインクルー  
シブ公園を児玉町中心市街地  
の競進社南の公有地(児玉児  
童公園・公民館跡)に作るこ  
とへの見解をお伺いします。

【その他の質問】  
・本庄駅北口整備の進捗状況  
と本庄総合公園について  
・行政施設跡地及び市所有地  
について

【その他の質問】  
・本庄駅北口整備の進捗状況  
と本庄総合公園について  
・行政施設跡地及び市所有地  
について

てる保護者や関係者、支援団  
体、ユニバーサルデザインに  
関する有識者への意見聴取な  
ど、多くの方々の意見を取り  
入れて計画を進めていく必要  
があります。

インクルーシブな公園とし  
て整備を行うには十分な検討  
が必要です。共生社会の実  
現を目指す公園の整備として  
インクルーシブ遊具の導入を  
少しずつでも進めていきたい  
と考えています。まずはその  
第一歩として児玉児童公園に  
おいて子供たちの遊び場の充  
実を目的とし、ユニバーサル  
デザインの考えを取り入れな  
がら、インクルーシブ遊具の  
設置を検討していきます。

(都市計画課)

【その他の質問】  
・小・中学生の安全なデジタ  
ル機器利用について



児玉児童公園

廃食用油の  
リサイクルについて

清水 静子(公明党)

家庭などの廃食用油  
は9割以上が捨てられ  
ている。廃食用油の有効利用  
とCO2削減ができる取り組  
みとして「Fry to Fly  
Project」がある。

使い終わった天ぷら油で航空  
機が空を飛ぶプロジェクト  
だ。本市も参加してはどうか。  
上武連携構想の10市町と連携  
して「私達が集めた天ぷら油  
で、ここから飛行機を飛ばそ  
う」と市民の皆様を思いを一  
つに頑張るのはいかがでしょうか。

【その他の質問】  
・本庄駅北口整備の進捗状況  
と本庄総合公園について  
・行政施設跡地及び市所有地  
について

【その他の質問】  
・本庄駅北口整備の進捗状況  
と本庄総合公園について  
・行政施設跡地及び市所有地  
について



Photo by Tatsuya Tanaka  
「食糧・フードシステム株式会社提供」

Fry to Fly Project

本市における自治会への  
加入について

小賀野 健司(市議団未来)

一、本市における自  
治会の現状と課題につ  
いて、二、本市における自治  
会への加入促進策の実施状況  
と今後の取り組みについて、  
三、本市における自治会加入  
者への補助や助成について、  
四、自治会加入者への情報提  
供や勉強会・活動支援の提供  
について、五、自治会はゴミ  
集積所の利用料金を掲示する  
とか清掃に一定の条件を出し  
て管理することが大切ですが、  
本市の考えを伺います。

【その他の質問】  
・本庄駅北口整備の進捗状況  
と本庄総合公園について  
・行政施設跡地及び市所有地  
について

【その他の質問】  
・本庄駅北口整備の進捗状況  
と本庄総合公園について  
・行政施設跡地及び市所有地  
について

インクルーシブ広場(公園)  
について  
早野 清(自由民主党本庄)

本庄市と児玉町が対  
等合併し、約二十年に  
なりますが、児玉地域に大型  
公園を作っていただいたく思  
います。誰もが一緒に楽しめ  
るユニバーサルデザインを取  
り入れた遊び場(インクルー  
シブ公園)。将来的には、利  
用者や地域団体の自治により  
公園が育てられるインクルー  
シブ公園を児玉町中心市街地  
の競進社南の公有地(児玉児  
童公園・公民館跡)に作るこ  
とへの見解をお伺いします。

【その他の質問】  
・本庄駅北口整備の進捗状況  
と本庄総合公園について  
・行政施設跡地及び市所有地  
について

【その他の質問】  
・本庄駅北口整備の進捗状況  
と本庄総合公園について  
・行政施設跡地及び市所有地  
について



(市民活動推進課)

あまりんが稼いだ  
ふるさと納税で、市の魅力を  
高める提案

内田 英亮(市議団大地)

**問** 昨年1億円を超えたふるさと納税額に占めるあまりんの金額と割合は。

魅力があり稼げるあまりんに対しいくら使っているか。あまりん生産者や関連事業へもつと寄附金を使い本庄市の魅力を高めるべき。使い道の選択肢にあまりん生産者応援・本庄野菜を応援や本庄野菜とあまりんをパッケージ化した返礼品や寄附者に市に関する案内を送付するなど本庄の農作物全体をPRする工夫を。

**答** 返礼品としてあまりんを選択した割合及び寄附額は、令和6年度は寄附額約1億6700万円のうち、53・1%の8869万円です。寄附のあまりんへの活用ですが、令和7年度はほんじようプレミアムストロベリーマーケットの開催に係る経費及び新規事業である本庄産あまりんPR推進事業に合計で約200万円の活用を見込んでいます。

本庄野菜の返礼品セットは季節ごとに登録がありますが、セットの中にあまりんを入れることについては今後検討していきます。返礼品のPRのチラシ等は以前送付していましたが、現在事業者の声を伺いながら見直しをしているところとです。また、ポータルサイトの返礼品の紹介文には生産者自身の画像や想いの掲載を行っており、生産者の方のPRをしています。議員ご提案の、具体的な寄附の使い道を明示することや、寄附分野の見直し等については、より効果的な方法を研究し、検討していきます。(広報課・農政課)



約9千万稼いだうち2百万があまりんに

【その他の質問】  
・塙保己一記念館への学芸員配置と文化財専門職員の育成

災害犠牲者ゼロを目指した  
本市の取り組みについて  
林 富司(市議団未来)

**問** 備えあれば憂いなしということわざがありますが、いつ発生するかわからない自然災害に対し市民の安全安心を守るための市の取り組みについて、また避難所となる市の公共施設等の環境整備について併せて伺います。

次に被害者の生活や健康を守るための食糧や物資の備蓄状況について伺います。最後に本庄市地域防災計画の現状と今後の自然災害に対する本市の取り組みを伺います。

**答** 公助の取組を進めるとともに、市民の防災意識の高揚を図り、協力して危機管理体制を整えることを目指して、各種ハザードマップを活用した研修会や地域防災訓練の実施のほか、防災ガイドマップによる自助意識の啓発、自治会を主体とした自主防災組織や消防団活動への支援、施設整備、避難行動要支援者対策などの取組を進めています。

を進め、皆様にとって稼げる地域を目指していくことが税収等の向上にも繋がるものと考えています。二つ目は、自主財源を稼ぐ観点を持ち、多様な取組を進めることです。特にふるさと納税の推進は、自主財源の確保はもとより地元事業者の販路拡大にも繋がるなど地域活性化を図ることができる有効な手段の一つです。また、クラウドファンディングも自治体が抱える地域課題の解決等に繋がる有効な取組であると考えます。本市の発展に向け、必要な財源を確保する稼ぐ視点を念頭に置き、持続可能な行財政運営に取り組んでいきます。(財政課ほか)

避難所の環境整備は、どの避難所でも円滑な開設・運営ができるようマニュアルを作成し、避難所開設訓練等を実施しています。また、中学校体育館への空調設備やマンホールトイレの整備を進めています。

備蓄状況は、4万8千食の目標に対し、要配慮者向けのものも含め現在約5万2千食を、また、毛布やブルーシート、簡易トイレ等を備蓄しています。

地域防災計画は、地震・水害・土砂災害等の各種災害対策について定めており、この計画に基づき防災対策等を実施しています。災害による被害を軽減するため、自助・公助・公助の充実を引き続き推進していきます。(危機管理課)



収納率の向上について  
高橋 和美(市議団大地)

**問** 市税の公平・公正な負担のために滞納者には納税コールセンターから督促・催告の電話が行きます。しかし電話かけは昼間の時間帯なので接触率は半分程度です。そこで自動音声催告システムを導入して接触率の高い時間帯に一斉に電話をするこ

とや、携帯電話にショートメッセージを送るなど時代に合った方法を検討することで市税等の収納率の向上が図れないかお尋ねします。

**答** 収納率の向上を図ることは、税の公平性確保等の観点からも重要であり、本市では、民間委託による納税等コールセンターを設置し、平日の午前9時から午後4時30分まで、電話による納付勧奨を実施しています。また、毎月1回、平日の夜間と休日にも実施しています。電話番号が不明、複数回の電話に回答が無い方には、平日の昼間、自宅訪問による納

理費が必要となり、解体する場合には、更に多額な費用が必要となりますが、本市では、これまでは未利用な建物については概ね整理できています。一方で、公共施設の老朽化に伴い、多くの施設が大規模な改修や更新時期を迎え、公共施設のあり方を大きく見直すべき時期に来ており、昨年度末に公共施設に関する基本的な考え方や全体目標、今後の取組等を定めました。施設の見直し方針の中には、複合化等により、建物は解体し、跡地は売却を検討する施設もありますので、マイナス入札の活用を進めるには民間のノウハウを取り込むマイナス入札の手法を提言するがどうか。

老朽化した公共施設の  
マイナス入札について  
門倉 道雄(市議団未来)

**問** 深谷市は建物解体条件付き土地売買契約として落札金額をマイナスで公共施設の入札を実施した。今回で4例目、最初は平成30年12月、廃校の体育館で現在は住宅が建っている。税収も見込める。要領には落札者が解体工事を行い解体確認後、市が負担金を支払い土地所有権の移転となる。未利用資産の活用を進めるには民間のノウハウを取り込むマイナス入札の手法を提言するがどうか。

マイナス入札は、落札者による建物解体を条件とした市有地公売のため、契約後の建物解体や造成等のスムーズな進行、民間の知識や技術を生かした解体費用の圧縮等が期待できます。また、土地活用を前提とするため、未利用地が速やかに活用され固定資産税等の税収にも繋がります。

**答** 札者による建物解体を条件とした市有地公売のため、契約後の建物解体や造成等のスムーズな進行、民間の知識や技術を生かした解体費用の圧縮等が期待できます。また、土地活用を前提とするため、未利用地が速やかに活用され固定資産税等の税収にも繋がります。

【その他の質問】  
・通学路の安全確保について



【その他の質問】  
・投票率の向上に向けて

自動音声システムやSMS一斉送信システムは、夜間や休日の納付勧奨を拡充し相互補完的な効果が見込めます。デジタル化が進む中、時代の変化に対応した新しい手法を調査研究していくことも必要であると考えており、導入済み自治体の状況等も含め、調査研究を行っていきます。(収納課)

**問** 人口減少社会で厳しい財政状況のなか、自治体は複雑多様化する諸問題を解決する施策を迫られています。こうした状況で、財源不足を補う手段を講じなければなりません。本庄市として税収以外に収入を得る「稼ぐ自治体」としてどのような取組みをしているかお聞かせ下さい。

本庄市の財源確保について  
巴 高志(市議団きせき)

**答** 市民の皆様へ行政サービスを確実に提供するため、ふるさと納税など多様な手法により、財源確保に努めています。また、稼ぐ自治体は今後の取組の重要な視点と考えています。これまで以上に稼げる地域を目指した行財政運営を行う必要があり、本市としては、大きく二つの取組が必要であると考えています。一つ目は、市民の皆様や市内企業等がしっかりと稼げるための環境整備を進めること

です。将来に向けた環境整備等



【その他の質問】  
・本庄市の小中学校における校外活動について

具体的な利活用が見いだせない未利用資産は、多額な管



公共施設のマイナス入札(深谷市HPより)

## 訪問介護の現状と 次期介護保険料への 基金の扱いについて 柿沼 綾子（無党派）

**問** 訪問介護報酬が2.3%引き下げられたことにより、全国で訪問介護事業者・事業所が崩壊の危機に見舞われ、利用者が訪問介護を受けられず大問題となっているが本庄市の現状はどうか。また、これまでの保険料の改定では、介護保険給付準備基金を使えば、値上げせずともよかったことがあったが、次回の改定では、どのような考え方で、姿勢で約5億円の基金を充てていくのか伺う。

**答** 本市の訪問介護の現状について、直近3年間の訪問介護事業所の廃止は4件で、現在市内では、17事業所が運営しています。利用者から、訪問介護が受けられないという直接の声は聞かれません。居宅介護事業所へのアンケートでは、本市に不足しているサービスとして訪問介護を上げる事業所が多くありました。

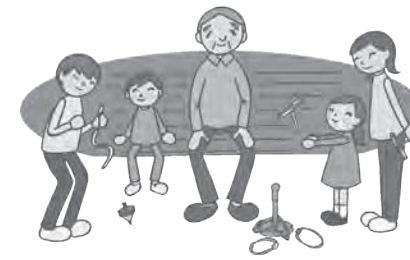


【その他の質問】  
・自転車利用者への対策について

は、適正な水準は保険者である市町村が決定するものですが、計画期間終了時に基金の余剰額を次期計画期間に繰り入れ、保険料上昇の抑制に充てることは基本的な考え方です。国では、基金残高と繰越金の合計額が少ない保険者においては余裕を持った保険料設定を、一方、相当程度積み上がっている保険者は、保険料上昇の抑制に留意した適切な保険料設定を検討するよう通知しています。

**問** 未知である超高齢化社会・少子化時代に向かう中「地域の宝」である子ども達に未来を託すにあたり、学校教育・家庭教育そして地域教育は社会に必要な「コミニカ」や「生きていく力」を学ぶ重要な部門であると考え、各地の地域教育を支える、子ども会・育成会を取りまとめるとも本市連の弱体化は自治会においても悪影響を及ぼしかねない。本市の地域教育の在り方について見解を伺う。

**答** 現在、市内には63の子ども会育成会があり、各種行事を行い、子ども達の健全育成の一助を担っています。



児童の減少や、それに伴う本市連からの退会により、今年度の加入団体は44団体、加入者は全児童数の約44.7%と年々減少しています。

## 委員会のついで 6月定例会における各委員 会の審査内容について主なもの を紹介いたします。

### ◆総務常任委員会 第44号議案

本庄市税条例の一部を改正する条例  
公示送達をインターネットに載せる手法を導入することなどについて質疑しました。付託議案2件について、すべて可決すべきものと決しました。

### ◆建設産業常任委員会 第43号議案

本庄市土砂の堆積の規制に関する条例を廃止する条例  
これまで本庄市の条例に違反などをしている実態などについて質疑しました。付託議案7件について、すべて可決すべきものと決しました。

### ◆厚生文教常任委員会 第56号議案

令和7年度本庄市一般会計補正予算（第2号）  
北泉小学校でよりよい生活方等の道德教育に関するモデ

**◆17号バイパス及び幹線道路整備対策特別委員会**  
国道17号バイパス本庄道路の早期整備のため、大宮国道事務所を訪問し、要望活動を実施しました。また、埼玉県議会において、白土幸仁埼玉県議会議長、飯塚俊彦埼玉県議会副議長へ表敬訪問をしました。



埼玉県議会への表敬訪問

### ◆交通政策及び観光政策特別委員会

栃木県那須烏山市役所へ行き、那須烏山市議会JR烏山線利用促進特別委員会及び那須烏山市まちづくり課よりJ



意見交換の様子

R烏山線利用促進に係る活動について説明を受けた後、活発な意見交換を行いました。

### ◆本庄市議会議員政治倫理審査会を開催しました◆

令和6年12月18日付けで堀口伊代子議員に対し、本庄市議会議員政治倫理条例第4条の規定に基づき審査請求書が提出されたため、同条例第5条第1項に基づき、本庄市議会議員政治倫理審査会を設置しました。構成委員は議員5人と学識経験者3人の合計8人です。

### 【審査対象議員】 堀口 伊代子 議員

【審査請求の対象となる該当条項及び内容】  
本庄市議会議員政治倫理条例第3条第2号に違反する疑い

### 【審査結果】

・適否 有

審査請求の内容は、具体的な根拠が示されていないものの、形式上提出書類が整っていることから、審査対象議員へ弁明の機会を設けるため、審査請求は「適している」と判断し、手続きを進めることとした。

・存否 無

市議会議員として、条例第3条第2号の倫理基準である特定の企業等に有利又は不利な取り計らいをしたとは認められなかった。

### ◆議員の辞職について◆

令和7年4月18日付けで、谷田裕之議員から議員辞職願が提出され、地方自治法第126条の規定に基づき、議長において同日付けをもって本庄市議会議員の辞職を許可しました。

## インフォメーション

### ▶本会議のライブ中継・録画配信◀

○本会議の全日程をライブ中継及び録画配信でご覧いただけます。また、録画配信では、過去5年間分をご覧いただけます。

★本会議のライブ中継・録画配信のアドレス  
[https://smart.discussvision.net/smart/tenant/honjo/WebView/rd/council\\_1.html](https://smart.discussvision.net/smart/tenant/honjo/WebView/rd/council_1.html)

※スマートフォンでも  
ご覧いただけます。



### ▶傍聴のお知らせ◀

#### 【本会議を傍聴される方】

本会議は、一般質問の日は午前9時30分に、それ以外の日は午前10時に開会予定です。傍聴を希望される方は、議会事務局で傍聴の手続きを行っていただき傍聴席にご入場ください。  
※ヒアリング（磁気）ループもごさいますので、お声がけください。

#### 【委員会を傍聴される方】

委員会は、通常、午前9時30分に開会します。当日の委員会開会5分前までに議会事務局で傍聴の手続きを行ってください。各委員会の定員は3名で、定員を超えた場合は抽選により決定いたします。

※発熱、せきなど、体調不良の方は、傍聴をご遠慮ください。